

## ◆個性豊かなアジアの織物文化を学ぼう◆ 無形文化遺産に関する展示・セミナー・ワークショップを開催します

堺市では、国際連合教育科学文化機関（ユネスコ）が賛助するアジア太平洋無形文化遺産研究センター（IRCI）と連携し、無形文化遺産の保護の促進と活性化に取り組んでいます。

今回は、アジアの伝統的織物とそれに関わる工芸技術について、無形文化遺産シリーズ展と無形文化遺産理解セミナー・ワークショップを開催します。

### 無形文化遺産理解事業「アジアの伝統的織物とその工芸技術」

#### ①無形文化遺産シリーズ展「アジアの伝統的織物—中国・韓国・日本を中心に—」

##### 1 概要

人びとが暮らしていくうえで必要不可欠な衣食住は、居住する環境によって調達できる素材や用いられる技法がさまざまであり、多様性に富んでいます。ユネスコの「人類の無形文化遺産の代表的な一覧表」や「緊急に保護する必要がある無形文化遺産の一覧表」には、衣食住にまつわる伝統工芸技術や自然・万物に関する知識および慣習が多く記載されています。本展では、ユネスコ無形文化遺産に登録された中国・韓国・日本の伝統的織物を衣服に焦点をあてて展示し、工芸技術とその継承について紹介します。

##### 2 会期等 令和5年9月5日（火）～10月1日（日）

開館時間：午前9時30分～午後5時15分（入館は午後4時30分まで）

休館日：月曜日（9月18日は開館）

##### 3 会場 堺市博物館展示場内（堺市堺区百舌鳥夕雲町2丁 大仙公園内）

##### 4 観覧料 一般200円（160円）、高大生100円（70円）、小中生50円（30円）

※（ ）内は20名以上の団体

※堺市内在住の65歳以上の方・障害のある方（要証明書）は無料

※堺市在住・在学の小中学生は無料

##### 5 主な展示内容（予定）

中国：黎族<sup>リー</sup>の伝統的な織物技術

韓国：韓山<sup>ハンサン</sup>モシ（伝統的麻織物）

日本：小千谷<sup>おぢやちがみ</sup>縮<sup>じょうぶ</sup>・越後<sup>じょうほ</sup>上布<sup>つむぎ</sup>・結城<sup>むすぎ</sup>紬



リー  
黎族の錦織をしている女性たち

（写真提供：中国手藝網）



ちぢみせいぞろのしんぼ  
縮布製造之真図（部分）

（写真提供：小千谷市）

### ②第 39 回無形文化遺産理解セミナー・ワークショップ

- 1 日 時 令和 5 年 9 月 23 日（土・祝）午後 1 時～午後 4 時
- 2 会 場 堺市博物館ホール（堺市堺区百舌鳥夕雲町 2 丁 大仙公園内）
- 3 申込方法 往復はがきにて申し込み。応募多数の場合は抽選（ワークショップのみの申し込みは不可）。  
宛先や記載内容等の詳細は、別添チラシをご参照ください。
- 4 対 象 小学校 5 年生以上（小学生は保護者同伴）

#### ・セミナー「雅やかな韓国の伝統織物「韓山モシ」」午後 1 時～午後 2 時 30 分

韓国の伝統的麻織物「韓山モシ」とその技術の保全・伝承についてのセミナーです。

講 師 <sup>イシノキミ</sup> 林在圭氏（静岡文化芸術大学教授）

定 員 70 名

参加費 無料



韓山モシ

#### ・ワークショップ「モシ・モビールを作りましょう」午後 2 時 50 分～午後 4 時

モシの端切れを使って、飾り物を縫い上げます。

講 師 からむし工房 塩尻俊子氏、<sup>イシノキミ</sup> 李仁子氏

定 員 30 名

参加費 1000 円

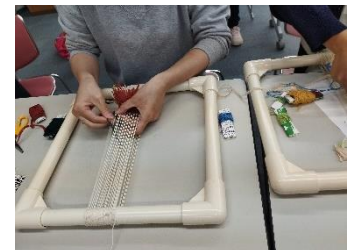


モシ・モビール  
（イメージ）

### ③第 40 回無形文化遺産理解ワークショップ「ミニ緞通を織ってみよう」

堺緞通の発展や技術の独自性を学んだのち、簡易器具を使ってミニ緞通の手織りに挑戦します。

- 1 日 時 令和 5 年 9 月 30 日（土）午後 1 時 30 分～午後 4 時
- 2 会 場 堺市博物館ホール（堺市堺区百舌鳥夕雲町 2 丁 大仙公園内）
- 3 講 師 堺式手織緞通技術保存協会
- 4 定 員 12 名
- 5 対 象 小学生以上（小学生は保護者同伴）
- 6 参加費 無料
- 7 申込方法 電話（072-245-6201）のみで受付。先着順。
- 8 申込開始 令和 5 年 9 月 12 日（火）午前 10 時



ワークショップ作業風景

#### 協力団体

特別協力：国立民族学博物館（展示資料・写真の借用）

協力：中国手藝網、（中国）海南省非物質文化遺産保護センター（展示映像・写真の借用）

問  
い  
合  
わ  
せ  
先

担 当 課：文化観光局 歴史遺産活用部 博物館 学芸課  
電 話：072-245-6201  
ファックス：072-245-6263



# アジアの伝統的織物と その工芸技術

人びとが暮らしていく上で必要不可欠な衣食住は、住む環境によって調達できる素材や、作り上げる技法など様ざま、まさに多様性に富んでいます。ユネスコ無形文化遺産代表一覧表や緊急保護一覧表には、衣食住にまつわって、古くから伝わってきた伝統工芸技術や自然および万物に関する知識および慣習として、記載されているものが多くあります。

本事業では、展示、セミナー、ワークショップを通じて、中国・韓国・日本を中心にユネスコ無形文化遺産に登録された、衣に関わる織物の工芸技術を取り上げて、多様なアジアの伝統的織物とその工芸技術の継承の一端を紹介します。

## 無形文化遺産シリーズ展

### アジアの伝統的織物 —中国・韓国・日本を中心に—

会期：令和5年9月5日(火)～10月1日(日) 堺市博物館展示場内

中国の「黎族の伝統的な織物技術-紡績・染色・製織・刺繍」、韓国「韓山モン」、日本「小千谷縮・越後上布」「結城紬」などユネスコ無形文化遺産に登録された伝統的織物とその工芸技術を紹介。



①黎族織布 ②黎族織っている様子(写真提供:①中国手藝網) ③韓山モン館内展示 ④韓山モン館織っている様子像(写真提供:③④林在圭氏) ⑤結城紬織っている様子(写真提供:結城市教育委員会)  
⑥小千谷市指定文化財「縮布製造之真図」のうち「雪ざらし」(写真提供:小千谷市/所蔵:小千谷織物同業協同組合)

## 無形文化遺産理解セミナー・ワークショップ

要申込

第39回無形文化遺産理解セミナー・ワークショップ

雅やかな韓国の伝統織物「韓山モン」

9月23日(土・祝)

①セミナー 午後1時～2時30分  
②ワークショップ 午後2時50分～4時

第40回無形文化遺産理解ワークショップ

ミニ緞通を織ってみよう

9月30日(土)

午後1時30分～4時

(詳細は裏面)

- 主催 堺市
- 特別協力 国立民族学博物館
- 協力 中国手藝網 / (中国)海南省非物質文化遺産保護センター

堺市博物館  
SAKAI CITY MUSEUM



# アジアの伝統的織物とその工艺技术

## 無形文化遺産理解セミナー・ワークショップ

### 第39回無形文化遺産理解セミナー・ワークショップ

9月23日 (土・祝)

①セミナー 午後1時~2時30分

#### 雅やかな韓国の伝統織物「韓山モシ」

韓国の伝統的麻織物「韓山モシ」とその技術の保全や伝承についてお話をします。

講師: 林 在圭氏

静岡文化芸術大学 教授

定員: 70人

参加費: 無料



韓山モシの製品 (写真提供: 林在圭氏)



韓山モシボジャギ (作: 崔良淑氏 / 写真: 飯貝拓司氏)

②ワークショップ 午後2時50分~4時

#### モシ・モビールを作しましょう

モシの端切れを使って、飾り物を縫い上げます。

講師: からむし工房

塩尻俊子氏 / 李 仁子氏

定員: 30人

材料費: 1000円



①②とも小学校5年生以上。小学生は保護者同伴

◆参加方法: 往復はがきにてお申込み。応募多数の場合は抽選

①セミナーの参加申込として受け付けます。

往復はがきの[返信面]に申込者氏名、住所、電話番号、事業名【雅やかな韓国の伝統織物「韓山モシ」セミナー】、[返信面]に返信先をご記入の上、「堺市博物館無形文化遺産係」までご郵送ください。1通につき1名。(小学生は本人と保護者名を記入。)

②ワークショップ参加希望の方は、[返信面]の事業名に「ワークショップ参加希望」と追加記入してください。ワークショップのみの参加はできません。

③両コースとも応募多数の場合は抽選。

〈往復はがき記入例〉

返信おもて	往信うら	往信おもて	返信うら
63 自分の郵便番号 自分の名前 様	63 自分の住所 この線を内側に折る 「韓山モシ」セミナー ワークショップ参加希望の方は ワークショップ参加希望」と追加 記入	63 5900802 堺市博物館 無形文化遺産係	記入しない

申込期間: 9月4日 (月) ~15日 (金) 必着

返信はがきが9月20日 (水) までに届かない場合は電話にてお問い合わせください。

●郵送先・お問い合わせ先

〒590-0802 堺市堺区百舌鳥夕雲町2丁 大仙公園内  
TEL.072 (245) 6201

### 第40回無形文化遺産理解ワークショップ

9月30日 (土) 午後1時30分~4時

#### ミニ緞通を織ってみよう

堺緞通の発展や技術の独自性を学んでから、簡易器具を使って、ミニ緞通の手織りに挑戦します。

講師: 堺式手織緞通技術保存協会

定員: 12人 (小学生以上、小学生は保護者同伴)

参加無料



◆参加方法: 9月12日 (火) 午前10時より、電話のみ受付。先着順。

●開館時間 午前9時30分~午後5時15分 (入館は午後4時30分まで)

●休館日 月曜日 (祝日の場合は開館)

●観覧料 一般200円 (160円) / 高校・大学生100円 (70円) / 小・中学生50円 (30円)

※ ( ) 内は20名以上の団体料金 ※堺市在住の65歳以上の方、障害のある方は無料 (要証明書)

※堺市内在住・在学の小・中学生は無料

## 堺市博物館

〒590-0802 大阪府堺市堺区百舌鳥夕雲町2丁 大仙公園内  
TEL.072 (245) 6201 FAX.072 (245) 6263  
<https://www.city.sakai.lg.jp/kanko/hakubutsukan/>  
フェイスブックにも堺市博物館の情報満載  
<https://www.facebook.com/sakaishihaku/>



堺市博物館公式キャラクター  
サカイクレルくん  
© YABUCHI Satoshi



世界遺産  
World Heritage Site of Osaka  
百舌鳥  
古市古墳群  
Mozu-Furuichi  
Kofun Group



◆交通案内

- 電車 JR阪和線「百舌鳥」駅下車約500m
- バス 南海高野線「堺東」駅から  
南海バス(140系統で約10分)、  
バス停「堺市博物館前」下車約280m
- 駐車場 大仙公園第3駐車場  
(仁徳天皇陵古墳東南・有料)